ふれあいと語らいの同窓会

# 東実同窓会報 No.36

発行　〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1　TEL 03-3732-4481
東京実業高校同窓会広報部
http://www.tojitsu-dosokai.com

会長　酒井　利夫（第 53 期）

同窓会会員の皆様には、日頃から同窓会活動の運営、発展にご理解ご協力いただき有り難うございます。私は同窓会会長を拝命いたしまして、３年目になりました。

新型コロナウイルス感染症も五類になり騒がれなくなりましたが、インフルエンザと同じくらいに感染している方が多いのが現状のようです。同窓会もコロナ過以前と同じように活動が出来るようになりましたが、最新の注意を払いながら行事に取り組んでいかなくてはなりません。引き続き同窓会会員の皆様には、ご協力をいただきたくよろしくお願いいたします。

さて、今年度（令和６年度）は第 100 期の 240 名余りの生徒が卒業され各方面に巣立っていかれますが、各クラスより選出されました２名の同窓会の新幹事の方に 2024 年 12 月６日(金)の新幹事懇親会において、同窓会行事等について説明をさせていただくと共に代表幹事及び副幹事の方を決めさせて頂きました。新幹事の皆様は、はたして幹事になって何をやれば良いのか分からないのではと思います。そんな時には、同窓会執行部（常任幹事）に気軽にお尋ねいただければと思います。

社会に出てからは、横の繋がりだけではなく縦のつながりも大事になってきます。年齢の違う大先輩たちとの交流で今までに無い自分が見つかるかも知れませんし、ご自分の成長にも繋がるかも知れません。また、同窓会の活動を日々意識していただき友人等と学校行事・同窓会行事に一緒に参加していただけると幸いです。

同窓会では毎年以下の通り行事等を行っております。

1) ６月（第一土曜日）…定期総会及び懇親会（卒業後３年間は無料でご招待）
2) ９月下旬～10 月中旬…有志による懇親旅行
※今年度（令和６年）は、東京湾シンフォニークルーズでランチを頂きました。
3) 10 月下旬～11 月初旬（学校指定日）…東実祭（校章入りどら焼きの販売＆同窓会の部屋運営等）
4) １月（最終土曜日）…新年会（卒業後３年間は無料でご招待）

いずれの行事においても「子どもが小さく一人では参加できないが、一緒に参加出来ますか？」との問い合わせがありますが、我々東京実業高等学校の同窓会では、どの行事でもお子様と一緒に参加して楽しんでいただけるようお待ちしておりますので是非ご参加ください。

また、行事のタイミングに合わせてご自分のクラスで集まる計画をしてみては如何でしょうか？卒業してからも学校を訪ねていただくと、きっと良いことがあります。いつになっても自分が教わった先生が居るのも私立高校ならではないかと思います、

私も自分の子どもが東京実業高等学校に通い始めたとき、私自身も学校に足を運ばせていただくようになりましたが、その際に何名かの先生がベテラン教師として在籍をしておりました。どの先生も私のことを覚えていてくれたのにはびっくりでした。

学校に在籍中は嫌な思い出があっても、時が過ぎればいい思い出になります。そんな味わいを皆様にも是非感じていただければ幸いです。

最後に母校と同窓会発展にご支援ご協力を賜わりますよう心よりお願い申し上げます。

（令和７年２月 10 日記）

～ふれあいと語らいの同窓会～

東京実業高校同窓会では、同窓会のネットワークを通して会員相互の好誼を厚くし、母校の興隆を図ることを目的としております。

同窓会ホームページ
http://www.tojitsu-dosokai.com/

# 変動の時代

理事長　上野　雅子

同窓会報の記事の依頼を受けたのが九月。もう秋の気配が漂ってもよさそうな時期のはずですが、その日の気温は、35度の猛暑日で続く暑さにうんざりしている毎日です。この気候も来年以降ずっと続く見通しとの気象予報士さんの話に、日本も美しい四季の景色は遠のいてしまうのかと心配する毎日です。気候変動が言われてから何年になるのか忘れてしまう程ずっと続いていますが、人間は何か変わったことが続くと、慣れてしまって受け入れてしまい、悲観しなくなってしまうものかもしれません。何百年後には、その環境に順応して姿を変え、生き延びていくのでしょうか？　いつかは死んでいく生き物として、未来の姿がどうなっているのか分かりませんが、子孫達が、しぶとく生き抜き、人間として存在していく強さを持つ力を今から育んでいかなければならないでしょう。

今地球上で起きている大洪水、山林火災等で多くの人々が苦しんでいる様子が、瞬時に放送される時代です。「知らぬが仏」という言葉も死語となり、何もかもが晒され、未知への憧れも薄れて、唯、欲望のみが膨れあがる世界とは、どんな世界になっていくのでしょう？

しかし、次々と現われるあらゆる分野での若者達の活躍、汚れた地球を再生する技術を開拓していく若者達等、前向きに生きている姿を見ると、まだ人間界も良い方向へ変わっていくのではないかと、希望が持てます。

現在どこの国でも人口減が深刻な問題になっていますが、これからの人材を育成する教育界も生徒の減少は、経営上非常に困る状況です。物作りを主とする業界と違い、人間が人間を作ることは、常識的には結婚という手段しかありませんが、若者達の結婚離れや、子供を持つという意識が薄れ、出生率は今や１ちょっととなっています。人口減は、国力も減少し、今や日本は、様々な分野でアジア諸国に負けています。

悲惨な戦争から奇跡のように復興したかっての日本の力を信じ、若者達と協力し合いながら、輝いていた時代を取り戻していきたいと思います。

同窓生の皆様におかれましても、今後の東京実業高校を暖かく見守っていただき、生徒達への御支援をどうぞよろしくお願い致します。

（令和６年 11 月 20 日記）

# 東京実業の羨望

学校長　田中　清江

今年も残り僅かとなりました。同窓会の皆様には平素より学校運営においてご尽力を賜り誠に有難うございます。

令和になり早くも６年が経過しておりますが、地球は自然においても政治および経済とあらゆる面で急激な変動が起こっております。その動向の中で人間は脅威と奮起、躍動の連続を強いられております。予想のつかないこれからを地球は、日本は、東京、そして本校、東京実業はどのような繋がりを模索すべきなのでしょうか。

この学び舎での３年間が生徒一人一人の「幸せ」のために、個性に着眼し、意欲を掻き立てられる環境となるために保障していかなければなりません。彼らの人生の礎となる精神の根幹に響かせる何かを日々問いかけながら研鑽に励んでおります。

校訓である「親和誠実」「不撓不屈」。明日に何が起こるかわからない世の中を生き抜かなければなりません。人との和が大切であることと物事を諦めないという人生の本質を込めたこの精神を改めて心に刻んでおります。

また、令和になり急激な改革を強いられている実業高校ではありますが、大学全入と謳われ、実業専門に拘らず普通教科においても本格的に前進をしています。来年度から普通科において進路毎のクラス編成を向上させます。そうすることで生徒の現状に沿った学びを保障し自分らしく生きてほしいのです。改めて、生徒ひとりひとりがアカデミックな意識の中で自己を見つめ、自分の発想力、着眼点を伝える力を鍛えるプログラムを考えております。

これからの「後期中等教育」は型にはまったものでは生徒に伝わらないと痛感しております。生徒は SNS 等で直ぐに情報を得ることができ、教員よりも情報量を持っている現状で、「体験を通しての気付き」を生徒に提供して参ります。

そして世の中は、教育環境においても様々なかたちを必要としてくるはずです。著しい文明の発展があろうとも、教育において「対面における肌感」は第一です。教育は暖かさから伝わるものです。「対面」することで彼らが何を感じているのかも同時に測れる。時には涙を流すことで生徒に愛情を伝えることがあっても良いのです。いつも生徒たちの側に誰かがいてくれるという感覚を大切にしたいものです。

（令和６年 12 月５日記）

# 学校の近況報告

副校長　宮田　宏輔

## １．在校生

３年前、創立 100 周年を機に完全週６日制に移行し、カリキュラムを作り直しました。全コース、大学進学に対応できる学力を身につける。実業高校として大きな一歩を踏み出しました。

☆全校生徒 801 名（男子 699・女子 102）

１学年 10 クラス 268 名
- 探究コース：１クラス 16 名
- 総合コース：５クラス 147 名
- ビジネスコース：１クラス 38 名
- 機械システムコース：１クラス 25 名
- 電気システムコース：１クラス 22 名
- ゲーム IT コース：１クラス 20 名

２学年 10 クラス 292 名
- 探究コース：１クラス 35 名
- 総合コース：４クラス 126 名
- ビジネスコース：２クラス 46 名
- 機械システムコース：１クラス 21 名
- 電気システムコース：１クラス 25 名
- ゲーム IT コース：１クラス 39 名

３学年９クラス 241 名
- 探究コース：１クラス 30 名
- 総合コース：３クラス 93 名
- ビジネスコース：２クラス 44 名
- 機械システムコース：１クラス 24 名
- 電気システムコース：１クラス 23 名
- ゲーム IT コース：１クラス 27 名

## ２．クラブ活動

クラブ活動は多種多様です。文化部 18、運動部 15、生徒会を含めると合計 34 の団体が、それぞれ独自の目的をもって活動しています。全国大会に出場するクラブ。全国まであと一歩のクラブ。また、大会の実績を目的とせず趣味を同じくする仲間が集うクラブなど。生徒の広報活動、メディアフェニックスもその一つです。入試イベントの担当やパンフレットの作成など、生徒と教員が一緒に活動しています。

☆入部率全校77.3%（１年90.1%・２年74.5%・３年66.7%）

☆大会実績

○サッカー部
　全国高校選手権大会東京都二次予選準決勝

○陸上競技部
　関東高等学校駅伝競走大会出場（29 位）

○マーチングバンド部
　関東大会出場（銀賞）

○レスリング部
　全国高校生グレコローマン選手権全国大会６名出場

## ３．行事

１学年研修合宿旅行４月 28 日(日)～30 日(火)、２泊３日、富士緑の休暇村、研修と懇親がうまく調和した、内容のある楽しい合宿でした。合宿後、学級活動が本格化しました。

２学年校外学習５月９日(木)、鎌倉散策。事前学習で行程表を作成し、班ごとに各々のコースを散策しました。

３学年校外学習５月９日(木)、浅草・東京スカイツリー散策。「観光地の魅力を探り、ＳＤＧｓを考える」をテーマに浅草の歴史や観光地について事前学習し、班ごとに散策しました。当日は台東区観光ボランティアの会が、各班に１名同行してくれました。

交換留学生来日６月９日(日)、アメリカ・コロラド州ボルダー地区から８名の留学生と引率教員が来日しました。約１ヶ月半、日米の生徒が寝食をともにし、互いに異文化を体験します。ウェルカムパーティー、小田原城見学、ボルダー会は、歴代の交換留学生と現役の高校生が交流する夕食会です。広島・京都旅行７月２日(火)～５日(金)、富士登山７月９日(火)～17 日(水)、サヨナラパーティー、７月 20 日(土)帰国しました。

体育祭７月 12 日(金)。駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館。勇往邁進。８色にわかれた生徒たちが優勝を目指し競い合いました。留学生も参戦！！

東実祭、完全開催。校内公開 10 月５日(土)、一般公開 10 月６日(日)、約 3000 名来校、新型コロナウィルスの大混乱が遠い昔のように思えました。

## ４．東実のいま

朝の登校時、学年ごとに担任と生徒が通学路の安全を確保し、８時 40 分に閉門しますが、閉門後に登校する生徒が実にすくない。ゼロの日もあります。

中間・期末テストの一週間前、村松ホール、図書室、教室に残って勉強する生徒がたくさんいます。あたりまえのように残って勉強しています。

また村松ホールは昼休み満席になります。楽しく食事し、５分前には誰もいなくなります。

ささいなことですが、勤続 27 年、生徒数が 2000 名以上の男子校から務めている私としては、ずいぶん変ったなあと、しみじみ、うれしく思います。

（令和６年 11 月 22 日記）

村松ホール（昼休み）

# ■ 普通科・近況報告 ■

## ❖総合コース

総合コース
コース長　御園　新太

総合コース設立から３年が経ち、全学年に総合コースが揃いました。前身の普通科文理コースは各学年１クラスでしたが、現在の総合コースは１年生５クラス、２年生４クラス、３年生４クラスと東京実業の中で一番多いコースとなりました。普通科の普通クラスが多くなり、東京実業高校の変化を感じます。

さて、そんな総合コースですが、生徒それぞれのニーズに合わせ、よりきめ細かい教育を実現できるように、来年度令和７年度より、総合進学コースⅠ類、Ⅱ類、Ⅲ類へと改編されます。以下がそれぞれの類型の特徴となります。

【Ⅰ類】

■目標進学先　日東駒専
・特別進学コースと同じカリキュラムに取り組み、文武両道を目指す
・２年次より、文理選択することが可能
・コースアップ制度で特別進学コースにコースアップが可能

【Ⅱ類】

■目標進学先　大東亜帝国
・週に１時間、国数英の学び直しの時間を確保
・２年次より文系科目を中心に学習
・コースアップ制度で上位コースにコースアップが可能

【Ⅲ類】

■目標進学先　大東亜帝国　スポーツ系大学
・令和７年度入試はサッカー部のみ募集
・クラスとして同じ意識、目標に向かって取り組む
・スポーツサイエンス、スポーツ実技で、実技や理論を学ぶ

（令和６年 11 月５日記）

## ❖ビジネスコース

社会を強く生きる幅広い対応力を

ビジネスコース
コース長　鈴木　七生希

現在、普通科ビジネスコースには 127 名の生徒が在籍し、専門性を高め、様々な検定試験（簿記・情報処理・ビジネス文書・ビジネスコミュニケーションなど）に挑戦することで個人の能力を向上させています。

今年度は地域と連携をし「蒲田温泉」とコラボ商品を東実祭で販売致しました。本来ならば東日本大震災後から行っている、宮城県・福島県・山形県などの支援の一環、ビジネス物産展を東実祭で開催していましたが、令和３年度よりコロナ感染症の影響で開催できずにいました。継続してきた「第 10 回ビジネスフェスタ」としてではなく、「第１回新ビジネスフェスタ」の形で販売演習・店舗経営を経験し、教員含め生徒にとって貴重な経験を積めたと思います。また、機械科と協力しコラボ商品に打ち付ける東京実業の校名と校章が入ったハンコを作成したことで、生徒はデザイン案の調整や蒲田温泉さんとの打ち合わせをすることで実りある活動になりました。科の垣根を超えた取り組みに生徒はやりがいを感じており、今後も地域と連携し、東実オリジナルの商品を共同開発できるよう努めていきたいと考えています。

年々、商業を学ぶ生徒数が減少傾向にある教育界ではありますが、商業だからこそ学べる幅広い対応力を本校では強みと考え、資格取得のみならず、東京証券取引所に訪問や様々なプログラムを通じて学校内外ともに教育の充足を図りたいとビジネスコース教員一同考えています。今の時代を強く生きる生徒の活躍を期待します。

（令和６年 11 月 22 日記）

## ■ 機械科・近況報告 ■

### ❖機械システムコース

機械システムコース長　羽田　雄

機械システムコースでは、様々なイベントに参加してきました。まずは、７月 14 日(日)に行われた高校生コマ大戦に参加してきました。コマ大戦とは作成したコマを持ち寄り、土俵の上で一対一で戦います。こうしてトーナメントを勝ち上がり、見事優勝したチームは、その大会の出場コマを総取りできます。使用されるコマは直径 20.0 ㎜以下、全長 60.0 ㎜以内。この小さなコマを本気で設計し、持てる技術をすべて注ぎ込んで製作しました。結果は残念ながら予選敗退でしたが他校の生徒と交流したり、企業の方たちと話をすることができ、充実した時間を過ごすことができました。続いて、９月 23 日(月)に行われた Robot Competition Series ”BRAVE”に参加してきました。BRAVE とは多用途化するロボットの進化を目的として不整地、極地で活動可能な高性能ロボットを生み出す基礎を世界に築くべく、生まれたロボット競技大会です。最大４機によるバトルロイヤルと凹凸のあるフィールドを使用し、見たこともない迫力で戦うロボット競技です。機体サイズはＡ４判内、使用可能モーターは 130 サイズ・260 サイズです。結果は準決勝に進出することができましたが惜しくも敗れてしまいました。生徒たちは多くを学ぶことができ、新たな視点を得ることができました。今後も精進していきたいです。

Robot Competition Series ”BRAVE”

高校生コマ大戦

（令和６年 11 月９日記）

## ■ 電気科・近況報告 ■

### ❖電気システムコース　❖ゲームＩＴコース

電気システムコース長
小谷　司

ゲームＩＴコース長
深川　剛

４月より、電気科はコースごとにコース長が設定されることとなり、電気システムコース長を小谷が、ゲームＩＴコース長を深川が務めさせて頂くこととなりました。

今年度は電気システムコース 22 名、ゲームＩＴコース 20 名の計 42 名（全員男子）を新入生として迎えることが出来ました。現在電気科は電気システムコース 68 名、ゲームＩＴコース 85 名（11 月現在）の合計 153 名の在籍者がおり、クラス数は両コース共に全学年１クラスの、計６クラス体制となっております。

「東京ゲームショウ」ですが、今年もゲームＩＴコースの３年生が制作したオリジナルゲームの発表を中心に出展することが出来ました。今年のゲームショウはコロナ以前以上の盛況を呈し、４日間で 27 万人の来場者（昨年度は 24 万人）があり、本校ブースも大いに賑わっていました。この来場者数は歴代２位とのことです。

同窓会報で毎年報告しております、「第二種電気工事士」の合格者ですが、今年度は 26 名の生徒が技能試験にチャレンジしました。期末試験終了から終業式まで午前中は様々な学校行事が行われたため、午後３時間のみの講習会となりましたが、見事 25 名の生徒が合格を果たしてくれました（電気科 16 名、機械科８名、普通科１名）。技能試験合格率は 96.2%となっております。「第一種電気工事士」では 10 月に筆記試験が行われ、電気科の福島先生、木内先生指導の下、６名（内機械科１名）が合格しました。彼らは11 月 24 日に行われた技能試験を受験し、結果５名が見事合格しました。来年度も嬉しい報告ができますように電気科一同指導して参りたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

東京ゲームショウ 2024
本校ブース

令和6年度第二種電気工事士合格者

（令和６年 11 月 22 日記）

## ■ 部活動・女子サッカー部 ■

女子サッカー部
顧問　山口　汐音

女子サッカー部は、３年生１人、２年生４人、１年生２人の計７人で、日々練習に励んでいます。部活動の目的は『人間力とサッカー力の向上』であり、挨拶や整理整頓を大切にしながら、サッカーを楽しむことを心がけています。

高校の女子サッカーの大会には、総体の東京都予選、選手権の東京都予選、新人戦の３つのトーナメントに加え、年間を通じて行われるリーグ戦があります。特に力を入れているのはリーグ戦です。しかし、本校の部員数は 11 人に満たないため、品川エトワール女子高等学校（以下、エトワール）と合同チームを組ませていただきました。エトワールは、本校の女子サッカー部が発足したときから、合同練習を行い、長い付き合いがあります。

リーグ戦では「楽しみながら勝つ」をモットーに、無敗優勝を果たしました。３年生は２年前に同じ合同チームで 11 チーム中 10 位と悔しい思いをしました。しかし、最後の年では素敵な笑顔で引退を迎えることができました。

来年度もたくさんの勝利を収められるよう、日々精進いたしますので、ご声援のほどよろしくお願いいたします。また、日頃の活動の様子は Instagram に掲載していますので、ぜひご覧ください。

（令和７年１月 31 日記）

女子サッカー部 Instagram
活動の様子

合同チーム集合写真

## ■ 生徒会・活動報告 ■

生徒会会長　小向　宥輝

現在の生徒会執行部は、１年生３人、２年生４人、計７人で活動しています。令和６年度の生徒会執行部の主な実績としては、新入生歓迎会、生徒総会、生徒会役員選挙、留学生ウェルカムパーティー、体育祭運営、先生と生徒の懇談会、東実祭運営、校則見直しプロジェクト、八丈島高校の生徒会執行部との交流会、各種委員会の個別化があります。現在は生徒会広報誌『蒲公英』の作成を行っています。

今年度の新入生歓迎会は生徒会中心で、司会進行を務め、部活動や委員会などの紹介を各部活と各種委員会のメンバーで協力し、１年生に様々な魅力を伝えられました。また、生徒総会では全校生徒がフェニックスアリーナに集まり、それぞれのクラスが提案した議題について、生徒会執行部と代議員会で話し合い、学校の校則見直しや施設の改善などについての沢山の意見を収集し、その中でも多数の意見を基に今後の学校運営に繋げていこうと決めました。そして生徒会選挙では生徒会の役員を選出するために、立候補者の募集や選挙活動、演説をし、投票、集計し、開票が行われ、現在の生徒会執行部の編成に受け継がれました。

留学生ウェルカムパーティーは交換留学生歓迎委員会とともに、お菓子やジュースを飲みながら、クイズやフルーツバスケットなどのレクリエーション活動を通し、留学生と沢山交流を深めることが出来ました。今年度の体育祭は交換留学生も交えて、昨年度までとは一味違った体育祭になりました。また、新競技も増え、コロナ前のような盛り上がりとなりました。先生と生徒の懇談会では生徒会が中心となり、代議員会と共に生徒総会で通った案を基に先生方と協議し、先生と生徒の本音を言い合える貴重な時間となりました。今年度の東実祭は東実祭実行委員会と共に運営に携わりました。三年生の飲食店も増え、昨年度の東実祭よりも新しい出し物も多く、昨年度よりたくさんの来場者となりました。校則見直しプロジェクトや各種委員会の会議は今年度から代議員会や各種委員会中心で動き、昨年度と比較しても格段に作業効率が上がりました。この政策は私自身とても良いものだと感じています。

今年度新たなイベントである八丈島高校との交流会では事前に zoom 会議で沢山の打ち合わせを重ねたうえで、実際にお互いがどのような活動をしているのか情報交換をしたり両校の校則や活動内容についての相違点や共通点を見つけたりしました。この交流会を通して今後の校則見直しプロジェクトなどの生徒会活動の発展に繋げたいと思います。現在生徒会執行部は昨年度より人数が減ってしまい、７人で活動しています。今の生徒会執行部は成長過程にありますが、これからも各部活や各委員会と共により良い生徒会となるように精一杯努力していきたいです。

保護者並びに先生方からの沢山の応援のおかげで、今私たちは活動出来ていると思っています。ご協力いただいた方の期待にこたえられるように東京実業高校の新たな伝統を築き上げていこうと思います。

（令和６年 11 月 22 日記）

# 定期総会報告

## 第 44 回(令和6年)定期総会･懇親会

第 44 回(令和６年)定期総会並びに懇親会は、令和６年６月１日(土)17 時より、定期総会 78 名、懇親会 80 名の出席のもと、プラザ・アペア（蒲田）にて次の次第に基づいて開催されました。

**第 44 回定期総会次第**

～開会～

1. 物故者への黙祷
2. 挨　拶
   (1) 会長
   (2) 名誉会長(学校長)
3. 議長選出
4. 議事録署名人選出
5. 議　事
   (1) 第1号議案　令和5年度事業報告の件
   (2) 第2号議案　令和5年度収支決算報告並びに監査報告の件
   (3) 第3号議案　令和6年度事業計画(案)の件
   (4) 第4号議案　令和6年度収支予算(案)の件
   (5) 第5号議案　任期満了に伴う役員改選(案)の件
6. 改選役員等紹介
   (1) 改選役員
   (2) 出席幹事(第 99 期他)
7. 令和5年度東実スカラシップ認定式
   (1) 認定証授与
   (2) お礼の言葉

～閉会～

**懇親会次第**

1. 開会の言葉
2. 挨拶
   (1) 会長
   (2) 学校法人上野塾理事長
3. 来賓祝辞
4. 学校近況報告
5. 乾杯
6. 教職員紹介
7. 歓談
8. 校歌斉唱
9. 閉会の言葉

### ●● 定期総会 ●●

議事に先立ち、鬼籍に入られた会員並びに同窓会関係者に黙禱が捧げられた後、酒井利夫会長、田中清江校長(名誉会長)の挨拶に次いで、総会の召集権のある会長が議長となり議事に入り、上程された５議案はすべて原案通り承認可決されました。続いて、改選役員及び出席された幹事（～第 99 期）の方々が紹介され、それぞれに自己紹介を兼ねて挨拶していただきました。

次いで、当会も協賛している「東実スカラシップ」の認定授与式が行われ、令和５年度２年生(現３年生)の各部門(学業、資格・技能、スポーツ・文化、特別)の認定生徒代表に田中清江校長より認定証が授与されました。

### ●● 懇 親 会 ●●

総会終了後、会場を変えて懇親会を開催しました。

開宴に先立ち、酒井利夫会長及び学校法人上野塾上野雅子理事長の挨拶、ご来賓の東京高校同窓会会長三枝香容子様にご祝辞をいただいた後、田中清江校長に母校の近況報告をしていただいた後、宮田宏輔副校長に乾杯の音頭を取っていただき開宴となりました。

出席者の最年長は 90 歳、最年少は 19 歳と 70 歳を超える年齢差のＯＢ･ＯＧが一堂に会して交流するという、同窓会ならではの和気藹々とした雰囲気の中で楽しいひと時を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会となりました。（総務部）

## 令和5年度 収支決算報告書（第2号議案）

（令和5年4月1日～令和6年3月 31 日まで）

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科　目 | 予　算 | 決　算 | 科　目 | 予　算 | 決　算 |
| 前年度繰越金 | 4,753,512 | 4,753,512 | 事務消耗品費 | 180,000 | 143,046 |
| 入会金 | 2,100,000 | 2,070,000 | 通信連絡費 | 150,000 | 108,188 |
| 寄付金 | 100,000 | 80,000 | ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ管理費 | 170,000 | 168,510 |
| 広告費 | 65,000 | 44,000 | 印刷費 | 70,000 | 115,327 |
| 総会会費 | 100,000 | 87,000 | 会議費 | 220,000 | 225,938 |
| 旅行会費 | 200,000 | 0 | 総会助成費 | 400,000 | 444,224 |
| 新年会会費 | 320,000 | 290,000 | 総会会費 | 100,000 | 87,000 |
| 東実祭 | 120,000 | 133,800 | 旅行助成費 | 100,000 | 0 |
| 受取利息 | 488 | 22 | 旅行会費 | 200,000 | 0 |
| 雑収入 | 150,000 | 210,000 | 新年会助成金 | 260,000 | 150,000 |
| (総会) | 60,000 | 40,000 | 新年会会費 | 320,000 | 290,000 |
| (旅行) | 0 | 0 | 東実祭費 | 250,000 | 124,730 |
| (新年会) | 80,000 | 150,000 | 会報発行費 | 700,000 | 595,528 |
| (拡大幹事会) | 10,000 | 10,000 | 慶弔費 | 200,000 | 370,000 |
| (その他) | 0 | 10,000 | 卒業記念品費 | 220,000 | 215,050 |
| 会議会費 | 30,000 | 39,000 | 積立金 | 500,000 | 0 |
| (拡大幹事会) | 30,000 | 39,000 | 交通費 | 20,000 | 20,000 |
| (その他) | 0 | 0 | 予備費 | 100,000 | 121,010 |
| | | | 雑費 | 3,000 | 550 |
| | | | 奨学金 | 500,000 | 500,000 |
| | | | 次年度繰越金 | 3,276,000 | 4,028,233 |
| | | | (普通預金) | 3,170,000 | 3,233,297 |
| | | | (現金) | 106,000 | 794,936 |
| 収入合計 | 7,939,000 | 7,707,334 | 支出合計 | 7,939,000 | 7,707,334 |

**【積立金等次年度繰越金内訳(別途会計)】**

| 金融機関名 | 前年度残高 | 増　減 | 利　息 | 本年度残高 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 定期預金(みずほ) | 16,827,039 | 0 | 270 | 16,827,309 | 定期預金 |

## 任期満了に伴う役員改選（第5号議案）

下表の９名の改選が行われ、他の現任役員は、全員重任となりました。

| | 氏　名 | 役職名 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| | | 現　任 | 改　選 | |
| ― | 國分　達夫 | 名誉会長 | 顧問 | 退職 |
| ― | 田中　清江 | 新任 | 名誉会長 | 校長就任 |
| ― | 小畑　雅一 | 副会長 | 退任 | 退職 |
| ― | 武田　一郎 | 副会長 | 退任 | 退職 |
| ― | 宮田　宏輔 | 新任 | 副会長 | 副校長就任 |
| 69 | 名取　正人 | 副会長 | 常任幹事 | |
| 28 | 関根　秀夫 | 常任幹事 | 退任 | 逝去 |
| 55 | 大平　貴志 | 新任 | 常任幹事 | |
| 66 | 中村　　仁 | 新任 | 常任幹事 | |

※改選後の新組織体制は、次ページの「令和６年度同窓会組織図」をご参照下さい。

# 令和6年度事業計画(第3号議案)

（令和6年4月1日～令和7年3月 31 日まで）

## Ⅰ. 総務部(定期総会及び庶務一般等に関する事業)

1．第 44 回（令和６年）定期総会並びに懇親会の開催
(1) 定期総会
○日時：令和６年６月１日(土)　17 時より
○場所：プラザ・アペア
(2) 懇親会
定期総会終了後、参加費 3,000 円にて開催（卒業後３年以内の会員は、無料とする。）
2．拡大幹事会の開催
○日時：令和６年 11 月 22 日(金)　18 時より
○場所：プラザ・アペア
3．庶務一般関係
(1) 会員名簿の整理及び作成
(2) 会員の同窓会事業への参加促進活動
(3) 卒業記念アルバムの管理
(4) その他
1) 常任幹事会等の開催
2) 新幹事との懇親会の開催
3) 学校行事への出席

## Ⅱ. 企画・広報部(年間行事等に関する事業・会報誌発行、ホームページ管理、広報活動等に関する事業)

① 年間行事等に関する事業
1．第 41 回　懇親旅行の実施
９月中旬から 10 月上旬頃に「ランチクルーズツアー」を企画
※決定次第、ホームページにて会員に広く周知する。
2．東実祭への参加
令和６年 10 月５日（土）校内公開、６日（日）一般公開日
※一般公開日に同窓会の部屋の設営、校章入りドラ焼きの販売を実施する。
3．令和７年新年会の開催
プラザ・アペアにおいて、令和７年１月 25 日(土)18 時 00 分より、会費は 8,000 円にて開催。（卒業後３年以内の会員は、参加費無料とする。）
② 会報誌の発行、ホームページ管理、広報活動等に関する事業
1．　会報誌関係
(1) 東実同窓会報の編集及び出版
(2) 頒布（配付・送付）
2．ホームページ関係
(1) 随時更新及び運用管理
(2) 年間行事等の情報提供及び参加者の募集
(3) 会員からの各種変更届等の対応
3．広報活動
(1) 会報誌の広告掲載企業の募集
(2) ホームページのバナー広告企業の募集

## Ⅲ. 会計部(予算・決算及び寄付・協賛・贈呈等に関する事業)

1．予算・決算関係
(1) 現預金の出納業務
(2) 当該年度の予算管理及び収支決算書の作成
(3) 次年度予算の集計及び予算書の作成
2．寄付・協賛・贈呈関係
(1) 卒業生への卒業記念品贈呈
(2) 東実スカラシップ（奨学金）への寄付
(3) 部活へのお祝い金贈呈
(4) 役員会で承認可決された慶弔金・寄付金等

## 令和6年度　同窓会組織図

- 名誉会長(校長)：－ 田中　清江
- 会長：53 酒井　利夫
- 副会長：宮田宏輔(副校長)／59 井上 ひとみ／70 深谷　和弘／75 山田　慎
- 顧問：34 本田 位公子／39 黒田　芳彦／42 臼田　佳彦／－ 上野　毅／45 知念　義裕／－ 國分　達夫
- 会計監査：37 白銀　正明／38 池上　良信
- 相談役：29 箕輪　弘数／34 浅賀　英雄／36 天野　昇／38 川邉　國造／41 滝口　房枝／42 井上　昭／42 瀬川　千尋／46 飯塚　方子／46 原田　忠彦／54 村山　隆
- 書記：（2名）
- 常任幹事（所属部会）
  - 企画・広報部（行事関連／会報・広報など）：70 ◆深谷副会長／53 斎藤 正千代／55 大平　貴志／68 長瀬　隆史／69 名取　正人／76 伊藤　英明／76 高柳　直生／76 高山　峻一／94 宮崎　颯眞／94 加藤　知樹
  - 総務部（総会関連など）：75 ◆山田副会長／59 秋本　宏／66 中村　仁／90 羽田　克萌／90 本荘　和音
  - 会計部（会計管理など）：59 ◆井上副会長／59 小林 由加里
  - 事務局：41 米倉　美鈴
- 校内幹事
  - （幹事長）：69 小島　健市
  - （副幹事長）：66 深川　剛
  - （幹事）：62 中村　大／77 砂本　眞／79 児島　大祐／80 清水　博信

◆印は部会責任者です。

・校内幹事は東京実業高等学校卒業の「現職教職員」です。
・書記2名は、会長または議長の指名により出席者の中から選出します。
・氏名の前の数字は、「卒業年度」です。

## 第 45 回(令和７年)定期総会開催のお知らせ

第 45 回（令和７年）の定期総会を下記の通り開催いたします。ご多用のところ誠に恐縮ですが、是非ご出席のうえご審議を賜りますようお願い申し上げます。

また、総会終了後に懇親会を開催しますので、併せてご出席くださいますようお願い申し上げます

記

○ 定期総会
・日時：令和７年６月７日（土）　17 時より
・場所：プラザ・アペア（蒲田駅南口）
○ 懇親会
・時間：　18 時頃より（隣接会場にて）
・会費：3,000 円（卒業後3年以内の会員は無料）

**～～～～～～　ふれあいと語らいの同窓会　～～～～～～**

※卒業後３年以内〔第 98 期(令和５年３月卒業)～第 100 期(令和７年３月卒業)〕の会員の方は、無料です。

クラス会・同期会を兼ねての出席も歓迎ですので、各期卒業のクラス幹事の方々、クラスメートの皆さんをお誘いのうえ是非ご出席ください。

## 同窓会活動カレンダー　（2024年6月～2025年5月）

●印:同窓会関係/○印:学校関係

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2024 6月 | ●1日(土) 定期総会<br>○10 日(月) 開校記念日 | 2024 7月 | ●常任幹事会<br>○12 日(金) 体育祭 | 2024 8月 | | 2024 9月 | ●常任幹事会<br>●懇親旅行 |
| 2024 10月 | ●常任幹事会<br>○5･6日(土･日) 東実祭 | 2024 11月 | ●22 日(金) 拡大幹事会 | 2024 12月 | ●6日(金) 新幹事懇親会 | 2025 1月 | ●25 日(土) 新年会 |
| 2025 2月 | ○ﾏｰﾁﾝｸﾞﾊﾞﾝﾄﾞ部定期演奏会<br>●常任幹事会 | 2025 3月 | ●1日会報 36 号発行<br>○3日(月) 卒業式 | 2025 4月 | ○7 日(月) 入学式<br>●常任幹事会 | 2025 5月 | |

第 44 回(令和6年)定期総会・懇親会(2024.6.1　於:プラザ・アペア)

# 主な行事報告

## 令和６年度　拡大幹事会

令和６年 11 月 22 日(金)、18 時よりプラザ・アペアにて上野雅子理事長始め学校関係者７名、同窓会役員 16 名、総勢 23 名の出席もと、拡大幹事会を開催いたしました。

酒井利夫会長、田中清江校長の挨拶の後、宮田宏輔副校長の学校近況報告に次いで、各部会の責任者より同窓会活動の現況報告が行われ議事日程は終了となり、会議は閉会いたしました。

会議後、懇親会を開催し、学校・同窓会相互の協力・連携等について意見交換を行いました。（総務部）

拡大幹事会(於:プラザ・アペア)

## 第 41 回　懇親旅行

### ～東京湾シンフォニークルーズにてランチを楽しむ～

懇親旅行は、令和元年９月に山梨県石和温泉に一泊旅行で実施した後、コロナ禍どの影響を受け、昨年まで４年間中止となっていましたが、宿泊旅行から日帰り旅行にプランを変更し、令和６年 10 月 19 日(土)、㈱シーライン東京日の出ふ頭営業所に 11 時 10 分に集合し、東京湾シンフォニーランチクルーズ（乗船時間 11 時 50 分～14 時 00 分）を実施いたしました。なお、参加費は 10,000 円、参加者は 15 名でした。（企画・広報部）

**※13 ページの第 28 期中島實氏の「東京湾シンフォニークルーズ（第 41 回懇親旅行記）」をご覧ください。**

東京実業高等学校同窓会　2024年10月19日　シンフォニー

# 令和６年度(第100期)同窓会幹事懇親会

令和６年12月６日(金)15時30分より、母校会議室にて各科・コースのクラスより、それぞれ２名選任された第100期同窓会幹事（令和７年３月卒業生）と、校長・副校長・学年主任・クラス担任の先生方に出席いただき、同窓会行事等の説明と選任された幹事の紹介を兼ねて、懇親会を開催いたしました。

田中清江校長の挨拶に続いて、酒井利夫会長の挨拶と併せて同窓会活動の内容説明及び同窓会行事への参加のお願いなどの話がありました。次いで、幹事の中から代表・副代表幹事を決めて終了いたしました。（総務部）

**令和６年度(第100期) 同窓会幹事**

| クラス | 担　任 | 幹　事 | |
|---|---|---|---|
| M３A | 砂本　眞先生 | 近江 慎一郎 | 寺島　永愛 |
| E３A | 田口　光成先生 | 安樂　良太 | 塚田　健介 |
| IT３A | 白石　龍馬先生 | 久野 翔太朗 | ○平田　結大 |
| O３A | 小島　茂先生 | 笠井　静水 | 河合　壱真 |
| O３B | 飯岡　健太先生 | 三井 秀太郎 | 佐々木 翔大 |
| O３C | 御園　新太先生 | ◎谷田部 結衣 | ○伊東　駿 |
| O３D | 片山　智裕先生 | 根本　大輝 | 水品　莉一 |
| O３E | 為田　純兵先生 | 宮田　仁平 | 湯本　雛莉 |
| O３F | 寺岡　しのぶ先生 | 雨宮　明 | 市原　玲良 |
| 進路部長 | 宮地　裕先生 | ・◎印は代表幹事、○印は副代表幹事です。 | |
| 3学年主任 | 小島　健市先生 | | |

令和6年度(第100期) 同窓会幹事

# 令和６年度　東実祭

令和６年の東実祭は、10月５日(土)・６日(日)の２日間にわたり開催されました。５日は校内開催日であり、同窓会は６日の一般公開日に「同窓会の部屋」を設け、歴代の卒業記念アルバムの公開や会員の作品展示、校庭と地下大ホールの親師会バザー会場にて、恒例となった「校章入りドラ焼き」販売を行いました。同窓会の部屋には、同窓生(家族同伴の方も)だけでなく在校生も訪れて、同期・先輩・後輩の卒業アルバムを懐かしく閲覧されていました。また、姉妹(兄弟)校の東京高校同窓会役員の方もご来場くださいました。

校章入りドラ焼き

今年も同窓会は一日限りの参加でしたが、各学年クラス、スポーツ・文化クラブの企画展示や有志団体のイベント、アリーナでのマーチングバンド部のライブなど拝見し、後輩の生徒たちが明るく生き生きと東実生活を楽しんでいる姿に、深く感銘を受けました。

（企画・広報部）

2024 東実祭（同窓会の部屋・ドラ焼き販売）

# 令和７年　新年会

令和７年１月25日（土）18時より、プラザ・アペアにて学校現・元教職員並びに卒寿を過ぎた第28期の大先輩から昨年卒業の第99期の会員まで、年齢差70歳を超える同窓会ならではの多彩な顔ぶれが集うなか、上野塾理事長及び理事、東京高校同窓会役員３名様をご来賓にお迎えし、総勢55名の参加のもと開催いたしました。

司会の臼田佳彦顧問(第42期)の開会の言葉で始まり、酒井利夫会長、上野雅子理事長、田中清江校長（名誉会長）の挨拶に次いで、ご来賓を代表して東京高校同窓会会長三枝香容子様よりご祝辞をいただいた後、宮田宏輔副校長(副会長)の乾杯の発声により開宴となりました。

普段は、あまり話す機会がない先生方や先輩後輩の垣根を越えて和気藹々の懇談が続くなか、受付にて抽選した「各色のシールが貼られた商品引換券」の交歓会が行われるなど楽しい時間を過ごした後、全員で校歌を斉唱し、本田位公子顧問（第35期）の締めの挨拶で盛況のうちに閉会いたしました。（企画・広報部）

## ――― 新年会写真 ―――

# 会員通信欄

## ■ 会員通信欄を拝見して
### 【令和６年９月 29 日封書にて】

☑日下部　銑五郎（第 38 期）
“ああ上野駅” 井沢八郎さんの歌を思い出しました。前 35 号会報の会員通信欄に第 37 期平野友治様が、昭和 32 年に集団就職で福島から上京し、定時制の商業科に入学とその後のご活躍に感動致しました。私は川崎大空襲の前年に父母の故郷福島県に疎開し、10 年間そこで暮らしました。
昭和 30 年代東北の二男・三男の方々は集団就職列車で上野駅へ上京する方が多く、「金のタマゴ」と呼ばれ、戦後日本経済の発展に寄与したことは疑う余地はないでしょう。私は機械科を卒業後、進学を思い働きながら夜予備校へ通いました。しかし、睡魔に襲われ４ヶ月で挫折、そのことから夜学で学んだ方々には尊敬の念を抱かざるえません。
戦後 79 年少子高齢化の現代、上野駅に集団就職列車が着くことがない。

## ■ 行事案内状の返信ハガキ備考欄より
### 【令和６年新年会（令和６年１月 27 日）】

☑浜住　芙美枝（第 34 期）
コロナウイルス感染症も収まりを見せ、いろいろな行事・旅行も出来るようになりました。令和６年は辰年、昭和 34 年卒の私達の年です。頑張って行きましょう。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

☑竹内　利男（第 38 期）
新しい年がおだやかな一年となりますよう心よりお祈り致します。皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。

☑大澤　秀子（第 38 期）
幹事の皆様いつも東実を盛り上げてくださり、ありがとうございます。79 歳となり体のどこかに故障が出来大変になりました。これからもよろしくお願い致します。お体に気をつけて！

☑日下部　銑五郎（第 38 期）
学園創立 100 周年記念を無事済ませ、更にこれから 125、150 周年をまた迎えるに際し、学園の更なるご発展を心よりお祈り申し上げます。

☑舛山　善男（第 42 期）
幹事の皆様、いろいろご配慮いただきありがとうございます。私事、飲酒は厳禁、検査入院が近いので欠席致します。

### 【第 44 回定期総会（令和６年６月１日）】

☑浜住　芙美枝（第 34 期）
会報ありがとうございます。令和６年５月ゴールデンウィークは「円安の為？」海外から大勢の旅行客が来ております。日本の良い所を沢山見学して行ってほしいですネ。皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

☑飯塚　守昭（第 38 期・野球部）
毎年、会報を送っていただきありがとうございます。35 号には、同期生（第 38 期）の記事が大きく掲載していただき感謝しております。今夏も都大会の野球応援を楽しみにしております。

☑竹藤　寛（第 38 期）
80 歳にもなると腰痛はありますが、他のところは何とか元気です。それ成りに…！

☑大山　健次（第 38 期）
卒業してから、もう 61 年になることを改めて思いました。皆さんご健康に留意されお元気でいてください。

☑桜井　憲一・清子（第 41 期）
世間では５月病と云ってますが体調如何ですか？私は毎日元気です。絵手紙のスケッチがあり残念ですが欠席です。
孫が東実にお世話になっています。よろしくです。

☑竹見　佐智子（第 41 期）
第 41 期の大半の方が喜寿（77 歳）を迎えます。私はまだまだ日々元気に趣味を生かして、母が着ていた着物の生地で小物入れ作ったり、小旅行を楽しんだりしています。
今回の総会は欠席ですが、同窓会の皆さんに会える日を楽しみにしています。幹事の皆様に感謝！

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

# 物故者（敬称略）

下記の方々が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

| 卒　期 | 氏　名（旧姓） | 没　年 |
|---|---|---|
| 第 23 期 | 塩野　理二 | 令和６年６月 |
| 第 25 期 | 三浦　大助 | 令和５年 11 月 |
| 第 25 期 | 小俣　義宏 | 平成 27 年２月 |
| 第 26 期 | 元橋　巖 | 令和５年８月 |
| 第 28 期 | 関根　秀夫 | 令和６年３月 |
| 第 34 期 | 草野　輝子 | 平成 29 年７月 |
| 第 34 期 | 鈴木　正 | 令和５年 11 月 |
| 第 34 期 | 高橋　忠 | 令和６年３月 |
| 第 34 期 | 指田　紀夫 | 令和５年 11 月 |
| 第 34 期 | 大久保 義子 | 令和４年９月 |
| 第 35 期 | 家城　宣雄 | 令和４年５月 |
| 第 36 期 | 伊豆倉 正信 | 令和５年８月 |
| 第 37 期 | 荒川　勇 | 令和６年 |
| 第 38 期 | 保田　義春 | 令和３年 11 月 |
| 第 39 期 | 田辺　敏男 | 令和５年６月 |
| 第 42 期 | 渡辺　洋子 | 令和５年６月 |
| 第 69 期 | 福嶋　友和 | 平成 15 年 11 月 |

## 物故者 memo

### 故元橋　巖（第 26 期中学）氏の長女・美佳様より
（令和６年５月 12 日メールにて）

父ですが、令和５年８月 22 日に残念ながら他界致しました。87 歳でした。ずっと大田区にて生活しておりましたので、父は生前、同級生の方々とのお付き合いを大切にしていたようです。特に、同じ町内にお住いの同級生の川田昇様とは親しくしていただいておりました。父は入院する前は度々お宅に訪れ、楽しい時間を過ごしていたそうです。父の葬儀にも、ご夫妻でお越しいただき、見送っていただきました。同窓会報は、霊前にたむけさしていただきます。皆さまのこれからのご健勝、東京実業高校様のご発展を心よりお祈り致します。

### 故塩野　理二（第 23 期）氏の四女・高桑様より
（令和６年７月 26 日メールにて）

この度、先月６月 21 日に父が老衰にて逝去致しました。生前大変お世話になりました皆々様に厚く御礼を申し上げます。父にとって皆様と、かけがいのない楽しいひとときを過ごせたことと思います。本当にありがとうございました。これからも益々のご同窓会の発展をお祈り致します。

# 寄稿・投稿欄

## 懐かしい“東実”の思い出

星山　嘉昭（第 38 期）

### 東実野球部と本塁打王！！

野球部の大きな出来事として、お話させていただきます。私は、1960 年(昭和 35 年) ４月に入学して迷わずに野球部に入部しました。入部初の練習に参加した時のことです。２年生の指導のもと、校庭に１年生部員 40 名ほどが集合させられ、各自のスパイクとグローブを持って鵜木のグランドまで(４㎞)走らされ、何とか喰らいついて初めて見る鵜木グランドに着きました。グランドには背の高い見たことのある紳士が新部員を迎え入れるように立っていました。その方は、本塁打 51 本の“本塁打王小鶴誠選手”でした。なぜここに小鶴誠選手がいるのか頭の中は混乱してましたが、上級生の指示のもと、各学年が３～４名のグループに分かれ、学年ごとにキャッチボールとトスバッティングを行いました。終了後、新入部員の１年生が集められ、それぞれの希望のもとに、これからの守備位置が決められました。私は、小鶴誠選手から「君は遊撃手をやりなさい」と指名され、入部早々３年生の遊撃手仙波主将と一緒にシートノックを受けることになり、戸惑いましたが指名していただいたことを自覚し、上級生に迷惑かけないように練習に励みました。

その後、小鶴誠選手にお会い出来たのは２回だけでした。最初は、その年の夏の大会前の合宿に陣中見舞いに来られ、プロ野球で使用済みのボールをバケツ３杯寄付していただきました。その晩は豪勢なビフテキの差し入れもあり、全員感激の食事をいただきました。そして、次にお会いしたのは、夏の大会予選の１回戦の対開成高校選（11 対３で勝利）にバックネット裏で観戦していただきました。当時、このことを高野連に知られると小鶴誠選手にご迷惑をかけることになると、箝口令が敷かれ、誰にも話すことが出来ませんでした。なぜ小鶴誠選手が来ていただけたのかは、１年生だった私にはいまだに分からないのが残念です。

野球部（神宮球場にて記念撮影）

## 神宮球場で初ブラスバンド応援

野球部員の私が２年生の時です。1961 年(昭和 36 年) ７月 19 日に夏の大会予選１回戦第３試合が、憧れの神宮球場で行われ、対都立大付高校と対戦し、16 対８で７回コールド勝ちしました。翌日、登校したら校門出入り口の掲示板に朝日新聞が掲示されていて、『東実　16 点の快勝』の記事が載っていました。その記事を読んでいると、同じクラスの斉藤克雄君が、「ブラスバンド部を立ち上げたので、次の試合も神宮球場なら是非応援させてくれ」と、信じられないことを言い出しました。

そして、７月 22 日の予選２回戦第３試合、対羽田工戦の神宮球場の三塁側スタンドに東実ブラスバンド部の 10 名ほどが集合し、初めて神宮球場での応援演奏をしてくれました。しかし、初めてブラスバンドの応援をもらえたのに結果は、２対５で負けてしまいました。試合終了後、３年生の井坂主将より「三塁側スタンドに向けて整列」との指示があり、ブラスバンド部や応援の皆さんにお礼の挨拶と感謝の礼をしました。しかし、ブラスバンド部の初舞台に勝利出来なかった悔さと申し訳なさで、なかなか頭を上げること出来ませんでした。

翌日、校門出入り口掲示板に再び朝日新聞の記事が掲示されていて、『小さな応援団 東京実業高校』と題した記事が載っていました。そして、改めて斉藤克雄君に「応援してもらったのに負けてしまってすまなかった」と言うと、彼は、「神宮球場に応援に行ったことで、新聞にも載ることが出来た！」、また「東実の前の第２試合の都立三商校ブラスバンド部に誘われて、東実ブラスバンド部の女子部員２名が、三商ブラスバンド部にまじって演奏ができたと大喜びで、部員のみんなが満足出来た！」と、逆に感謝してくれました。

現在のマーチングバンド部は、全国大会で金賞を受賞するなど、優秀な成績をおさめていますが、今はなきブラスバンド部の活躍を埋もれさせたくなく、昨年（2023 年）、神宮球場での応援演奏を証明する証拠の新聞記事を探しに宮城県立図書館に行き、その時の記事を見つけることが出来ました。1961 年(昭和 36 年) ７月 23 日の朝日新聞都心版に演奏している写真が掲載されて、『ブラスバンドにまじって応援する東京実業の女生徒たち（神宮球場で）』の見出しで、２年生と１年生のブラスバンド部の女生徒２人が写った写真が掲載されていました。

昭和 36 年(1961 年)7月 23 日付　朝日新聞記事より

（あとがき）

現野球部員の生徒たちに、東実野球部が“本塁打王小鶴誠選手”と繋がりあったこと。また、今から 63 年前の野球部と今はなきブラスバンド部の青春の思い出をお伝えしたく、投稿させていただきました。

令和６年６月 26 日　星山　嘉昭

# 吹奏楽部クラブ活動の思い

斎藤 克維（第 38 期・機械科）

☑近況… 吹奏楽部で身につけた楽器を使ってのボランティア活動や、公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会が発行・認定するネイチャーゲーム指導員の資格を取得し、子供たちに自然遊びを指導しています。また、イタドリの茎からオカリナの手作り作業を見せたり、オカリナで演奏をして子供たちを喜ばせています。
※写真はネイチャーゲーム会場での演奏の時です。

1960 年(昭和 35 年)の１年生入学時には吹奏楽部が無く、上級生たちが同好会のような集まりで、楽器を鳴らしていました。１学期の終わり頃に、経験者や興味を持っている同級生４人が上級生５名のもとに自然に集まりました。

そして、宮野 要先生から「スポーツの応援にはブラスバンドが必要である。」と、予算をつけて楽器を購入していただき、吹奏楽部として活動をスタートしました。

部活動の思い出としては、児童養護施設クリスマス訪問での演奏や、1961 年(昭和 36 年) 7 月 22 日の神宮球場第３試合で、汗びっしょりの母校野球部の応援演奏や、第２試合で他校の応援演奏に参加した当部の女生徒の姿が新聞に載り、夏の大会中継を見るたびに思い出します。

卒業するまでの指揮者は、上級生が代々務めていましたが、少しでも上達しようと、部員全員で日吉にある神奈川県警音楽隊の練習所を訪問し、その練習方法を学んだり、楽譜を借用してレパートリーを増やしたりと、仲間達の一生懸命な部活動は、その後の後輩たちに引き継がれ、現在のレベルの高いマーチングバンド部に成長されたのでしょう。

吹奏楽部 19 名の中央に座る方が鷹野 宗太郎先生で、宮野 要先生の後に当部の顧問を務められました。

左:宮野 要 先生
右:鷹野 宗太郎 先生

（第 38 期卒業アルバムより）

# 東京湾シンフォニークルーズ

（第 41 回懇親旅行記）

中島 實（第 28 期）

令和６年 10 月 19 日(土)、乗り物好きな私ですが、東京湾シンフォニークルーズは初めての体験だ。新橋駅から「ゆりかもめ」に乗車、運転手なしの走りは何か不思議な感じだ。「日の出埠頭シンフォニー乗り場」に同窓会の参加メンバーが揃い、いよいよ出発!! 。

晴天に恵まれ波静かの中、定刻通り 11 時 50 分に出航した。クルーズ船「シンフォニー クラシカ」は、昨年夏に浅草からＯＢ仲間と乗船した木造の尾形船とは、内装も違い乗り心地も良い。

船は、レインボーブリッジの下を通過し、お台場～品川埠頭～大井埠頭へと移り変わる景色をガイドさんが、クイズなどを交えて上手に説明してくれるのを楽しく聞きながら、同窓会皆さんのご健康と東京実業高校の発展を願って乾杯して、待望のランチコースの料理に大いに舌鼓を打ちながら、会話もはずんで満足していると、船は進路を左転して東京ゲートブリッジの下を通過し、東京ディズニーランド、東京ディズニーシーを始め、中央防波堤越しに見る東京都内の風景や羽田空港などの景色を堪能した後、日の出埠頭へ無事帰港し、130 分の東京湾ランチクルーズが終わりました。

思っていた船酔いはなかったが、お酒に酔ってしまいました。次回はサンセットクルーズも楽しそうだ!!。

今回の日帰り懇親旅行に参加し、同窓会の楽しい思い出となる一日を過ごすことができて感謝しています。

幹事の皆さん有難うございました。

（令和６年 10 月 25 日記）

東京湾シンフォニークルーズ（2024.10.19）

# マーチングバンド部OB･OG会

## PHOENI Alumni

フェニックス アルムナイ
会長　飯野 賢治（第 69 期）

同窓会の皆様、はじめまして。私は、1994 年３月商業科卒の飯野賢治と申します。現在は本校マーチングバンド部フェニックス レジメントの OB・OG 会であるフェニックス　アルムナイ会長を務めさせて頂いております。当会はマーチングバンド部の卒業生で構成され、現在 18 名の役員と 696 名の会員により現役生へ様々な後援活動を行っております。

さて、私が青春時代を過したマーチングバンド部を少しご紹介させて頂ければと思います。クラブは 1977 年に故・宮武先生が顧問となられ創部されました。その後、故・有田先生、横田先生が顧問に加わり月日が流れ、現在は中村先生、小島先生、小山先生の３名の顧問の先生方により活動をされております。クラブのモットーはチームワーク・忍耐・達成感・悔しさから人間形成や生活態度を学ぶ事とし、今年で 47 年目を迎えます。年間活動の一つに全日本マーチングバンド協会主催の大会に出場しておりますが、1983 年度に初の全国大会出場を果たした後は、全国大会 34 回出場、その内金賞 25 回、銀賞９回、編成別最優秀賞４回受賞をしております。そして、1988 年度には日本一となる内閣総理大臣杯グランプリを受賞いたしました。また、アメリカで行われているインターナショナル大会にも３度出場し、その他にもホワイトハウス前での演奏やハワイ・メキシコ・フランスなど海外遠征を行った年もございます。活動は大会以外にも地域のイベントやパレードなどに数多く参加をし、地域社会との繋がりをもった活動に力を入れているクラブです。今年度は 50 期生となる新入部員を迎えて部員 21 名で頑張って活動をしておりますが、全国大会へは惜しくも出場する事は出来ませんでした。私達アルムナイの活動は、部員たちにこうしたクラブを通して得られる様々な経験や、かけがえのない仲間との絆を深めてもらいたく、保護者の皆様と共に協力しあいながら今後も後援活動を続けて参りたいと思っております。

最後になりますが、このような地域に根ざした歴史と伝統のあるマーチングバンド部をこの先も発展し続けられますよう、皆さまの温かいご支援、ご声援を賜りたくお願い申し上げます。また、東京実業高等学校の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

横田正明先生を囲む会（2023.9.2 ﾌﾟﾗｻﾞ･ｱﾍﾟｱ）
（令和６年 11 月 22 日記）

## 東京実業高校同窓会会員総数

第99期（令和6年3月）卒業生まで

（ ）内の数字は女子会員

| | | 総　数 | 商業系 | 工業系 | 普通系 |
|---|---|---|---|---|---|
| 会　員　数 | 総　数 | 38,397 | 14,265 | 18,168 | 5,964 |
| | うち女子 | (3,719) | (2,612) | (24) | (1,083) |
| 昼間部（同窓会） | 総　数 | 34,171 | 11,910 | 16,297 | 5,964 |
| （大正15年～令和6年）99期 | うち女子 | (3,487) | (2,382) | (22) | (1,083) |
| 夜間部（蛍窓会） | 総　数 | 3,586 | 2,223 | 1,363 | |
| （昭和4年～昭和52年）49回 | うち女子 | (228) | (228) | (0) | |
| 専門学校（五葉会） | 総　数 | 640 | 132 | 508 | |
| （昭和35年～昭和48年）14回 | うち女子 | (4) | (2) | (2) | |

| 第99期卒業者数 | 総　数 | 工業系 | | | 普通系 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 機械科 | 電気科 | | | |
| | | | 電気 | ＩＴ | ビジネス | 文理 |
| 合　計 | 207 | 36 | 25 | 56 | 65 | 25 |
| 男　子 | 191 | 36 | 25 | 51 | 58 | 21 |
| 女　子 | 16 | 0 | 0 | 5 | 7 | 4 |

## 寄付者（敬称略･卒期順）

（令和６年２月１日～令和７年１月 31 日）

| No. | 卒　期 | 氏　名 | 寄付金 |
|---|---|---|---|
| 1 | 第 29 期 | 箕輪　弘数 | 10,000 円 |
| 2 | 第 34 期 | 本田　位公子 | 10,000 円 |
| 3 | 第 35 期 | シダ　マサハル | 10,000 円 |
| 4 | 第 37 期 | 白銀　正明 | 10,000 円 |
| 5 | 第 41 期 | 田口　清 | 10,000 円 |
| 6 | 第 41 期 | 市川　達雄 | 10,000 円 |
| 7 | 第 41 期 | マキ　トヨコ | 10,000 円 |
| 8 | 第 57 期 | ナカノ　タツノブ | 10,000 円 |
| 9 | 第 64 期 | 清水　誠三 | 10,000 円 |
| 10 | （匿名） | （匿名） | 10,000 円 |
| 寄付者数 10 件 | | 合計金額 | 100,000 円 |

貴重なご寄付をお寄せくださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。皆様からお寄せいただきました寄付金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

会長　酒井　利夫

# 寄付金募集について

本会は同窓会（昼間部・昭和３年３月結成）と蛍窓会（夜間部・昭和４年３月結成）及び五葉会（専門学校・昭和 36 年２月結成）の３つの会を昭和 58 年 12 月統合し、現在の「東京実業高校同窓会」に改称しました。

主な事業として、定期総会・懇親会、懇親旅行及び新年会等の行事開催、会報誌の発行、学校記念行事の協賛などの活動を行っており、事業の運営費は、会員の皆様が在学中に納めていただいた終身会費１万円及び行事参加費等で運営しております。

寄付金募集は、母校の部活応援賛助金や周年特別事業協賛金などを除いて行っていませんでしたが、少子化等の影響により母校の生徒数は年々減少傾向にあり、それに伴って会費収入も減少し、事業活動が困難になることが懸念されるため、寄付金を募って運営資金に充当することにいたしました。

厳しい経済環境のなか恐縮とは存じますが、ご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

金額の多寡にかかわらず、有り難く受け賜わりますので、ご寄付いただける方は、以下の振込先にお願いいたします。なお、この寄付金は任意であり税制上の優遇措置はありません。

振 込 先

金融機関名・支店名：みずほ銀行・蒲田支店
預金種目・口座番号：普通預金　０６１３１１４
口座名義：東京実業高等学校同窓会
酒井 利夫（サカイ　トシオ）

# 本会報誌について

## ■ 頒布（配付・送付）

本会報誌は、発行年度の卒業生には直接配付し、卒業されてから３年までの会員、同窓会役員、行事出席者、寄稿者及び広告掲載企業様等には、４月下旬に送付しております。また、定期総会や新年会開催の際に受付にて希望される方に配付しております。在庫部数に限りがありますが、クラス会・同期会等の開催の際に必要な方は、事務局にご連絡いただければ差し上げますので、ご遠慮なくお申込みください。

## ■ 写真及び随筆文等の募集

皆様からの在校中の思い出やクラス会・同期会・近況報告などに関する写真や随筆・紀行文などを募集しております。文字数は最大 1100 字までとし、写真の挿入（ただし、1 枚）がある場合は 800 字までとします。なお、投稿文は編集において編集担当者の判断により、加除させていただくこともありますので、ご了承ください。また、原則として投稿者の顔写真を掲載させていただきますので、ご承諾のうえご提供くださいますようお願いいたします。ご提供いただいた写真は、使用後返却いたします。

## ■ バックナンバーの閲覧

本誌のバックナンバー（創刊号～本号）は、同窓会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

同窓会ホームページ

東京実業高等学校
JR京浜東北線／東急池上線・多摩川線 蒲田駅 徒歩3分
東京都大田区西蒲田8丁目18番1号　03-3732-4481
https://www.tojitsu.ed.jp/

炭火焼肉ホルモン 煙
東京都大田区南馬込5-22-10
TEL　(03) 3771-7100　営業時間　17:00～23:00
携帯　(080) 5375-8552　月曜定休（祝日の場合営業）

美しい日本語を大切に
株式会社 佐々木印刷所
〒146-0095
東京都大田区多摩川1丁目18番5号
TEL.03-3758-0710
FAX.03-3758-2821
第56期　佐々木　健

パソコン・一般家電　修理・販売
お気軽にご相談下さい
有限会社 深谷電器
〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16
（御嶽山商店街内）
電話：03（3728）1446
E-mail：NQF15990@nifty.com
第 70 期　代表取締役　深谷和弘

OSK NC旋盤加工
有限会社 大坂製作所
本　社　〒144-0045 東京都大田区南六郷 1-34-13
TEL/FAX　03-3735-0379
羽田工場　〒144-0044 東京都大田区本羽田 2-12-1
テクノ WING208
TEL　03-6423-8718　FAX　03-6423-8719

移転・お引越し
産業廃棄物収集運搬・処理

不用品回収・処理
機密書類溶解処理

特別管理産業
廃棄物収集運搬

店舗・オフィス
解体工事

害虫駆除

GS
CLEAN & RECYCLE

bsi. MS JAB EMS CM036
EJ00577／ISO14001:2004
認証取得（営業所・京浜島工場）

株式会社 ジー・エス
〒108-0072 東京都港区白金1−1−6

0120
12-5353

http://www.gs-recycle.com



総合進路情報ポータルサイト

さんぽう進学ネットで
検索 click

さんぽう 進学ネット

https://www.sanpou-s.net/

全国の大学・短期大学・専門学校・その他の教育機関など、4,000校以上の情報を掲載しています。「仕事」「資格」「学問」についての解説や、小論文や志望理由書の書き方などの受験対策、進学関連イベント情報などのコンテンツが満載です。
また適性検査の結果など、様々な方法で自分に合った学校を検索することができます。各学校の特色がわかる動画や記事特集などの情報も掲載しています。資料請求やオープンキャンパスの申込も可能です。

未来をカタチにする
株式会社さんぽう　東京本社

〒151-0061　東京都渋谷区初台1-31-16 初台壱番館ビル　☎03(3378)7111
■ 支社　名古屋／大阪／福岡　■ 営業所　仙台／新潟／広島

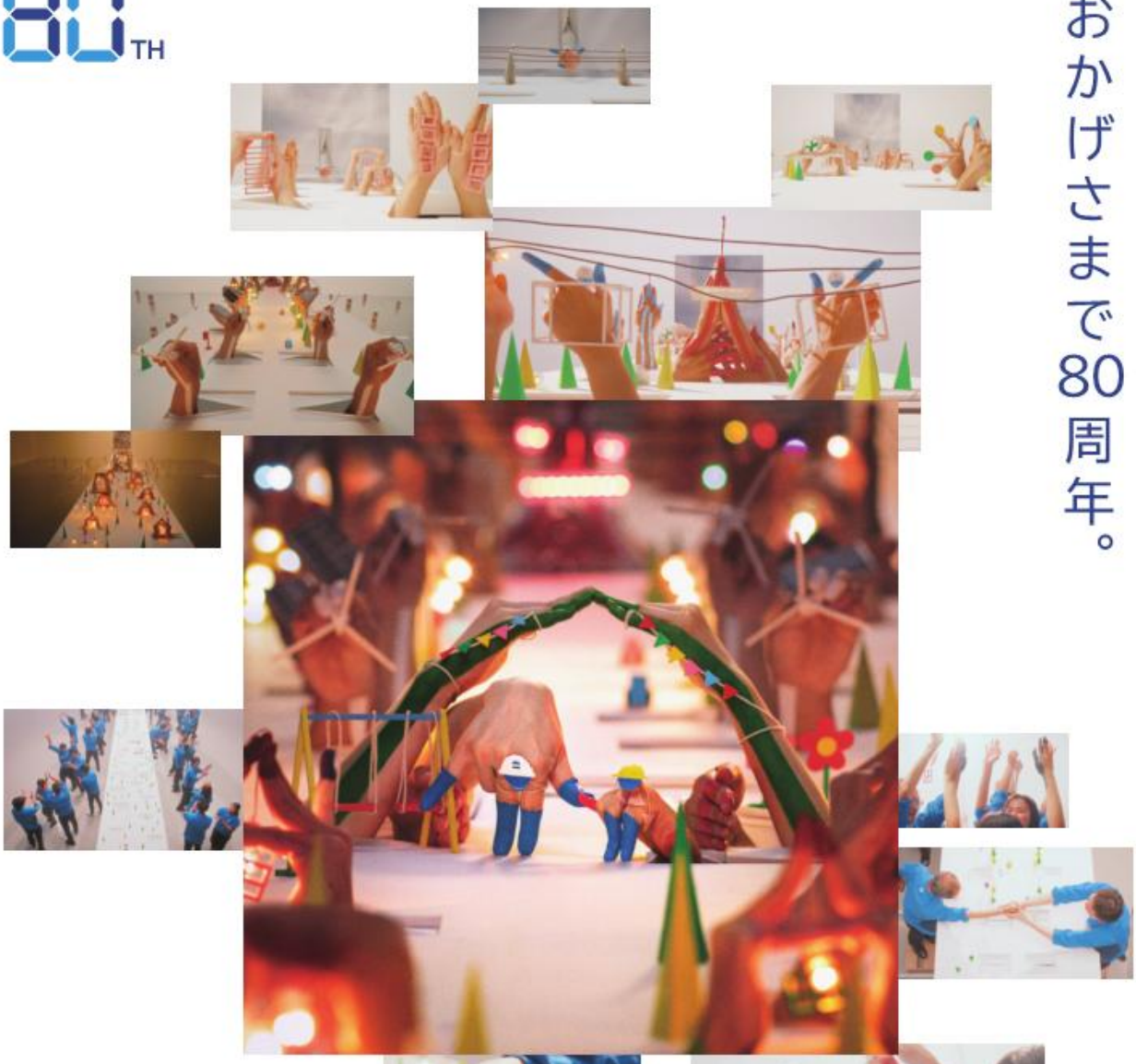
# いろいろな道具

# 使って清掃しています

ビル清掃管理・清掃用品販売
東京都大田区西蒲田8-10-10
株式会社 一元

80TH

おかげさまで80周年。



私たちはずっと、つないできました。
暮らしを支える総合設備企業として、
ライフラインをつなぐことで、
街を、歴史を、未来へとつなぐ仕事。
考えて、創り出して、支え合って、
よりよい環境へ、安心・安全な未来へ。
みなさまへの感謝と使命を胸に。
新しい世代と共に技術を進化させながら、
これからもずっと、つなぎつづけていきます。

ひとりひとりが、未来を灯す。

関電工

社員ひとりひとりの手で関電工の歴史を描き出す
80周年記念ムービーを制作しました。ぜひご覧ください。

# 各期幹事名簿（第 89 期～第 99 期）

| 卒年・期 | クラス | 担任教諭 | 幹事1 | 幹事2 |
|---|---|---|---|---|
| 令和6年3月 | M3A | 羽田　雄 | 大森　一樹 | 安田　準晶 |
| (2024年3月) | M3B | 上原　直輝 | 吉田　雄一郎 | 小黒　嵐 |
| ・第99期 | E3A | 田中　秀明 | ○ 鈴木　駿平 | 松島　空良 |
| | IT3A | 深川　剛 | 徳島　脩斗 | 五十嵐　英雅 |
| 学年主任教諭 | IT3B | 永津　圭一 | ○ 田村　芳多郎 | 澁谷　東希 |
| 小島　茂 | O3A | 遊佐　みゆき | ◎ 久川　豪 | 五十嵐　星空 |
| | O3B | 田島　恵 | 千葉　健太 | 向山　将 |
| | O3C | 御園　新太 | 有村　拓澄 | 田中　吾錬 |
| 令和5年3月 | M3A | 松田　稔 | ◎ 岩淵　大典 | 宮崎　明 |
| (2023年3月) | M3B | 羽田　雄 | 弦間　拓実 | 宇山　龍星 |
| ・第98期 | E3A | 関根　勝 | 西原　結真 | 中里　丈侑 |
| | E3B | 清水　博信 | 石川　雄斗 | 早坂　陸 |
| 学年主任教諭 | IT3A | 小谷　司 | 飯塚　祐太 | 髙野　佑太 |
| 湯尻　英明 | O3A | 毛塚　卓夫 | ○ 上久保 美優 | 片山　夏穂 |
| | O3B | 鈴木　七生希 | 紙漉　優理恵 | 佐伯　昴哉 |
| | O3C | 田口　結香 | 福壽　みちる | 平田　佳彦 |
| | O3D | 小泉　佐和子 | 京谷　颯太 | ○ 沖　心 |
| 令和4年3月 | M3A | 砂本　眞 | 北畠　想来 | 長田　駿友 |
| (2022年3月) | M3B | 村上　信人 | 日沼　隆太郎 | 椿　辰斗 |
| ・第97期 | E3A | 長谷川　浩 | 堀田　大貴 | 樋笠　光紀 |
| | IT3A | 清水　博信 | 黒木　祐紀 | 石川　義勝 |
| 学年主任教諭 | O3A | 田島　恵 | ○ 與田　雄太 | ○ 望月　隆平 |
| 藤吉　大介 | O3B | 飯岡　健太 | 清水　巴弥斗 | 上野　雅貴 |
| | O3C | 松田　稔 | ◎ 松木　周斗 | 佐々木　萌花 |
| | O3D | 御園　新太 | 松野　隼人 | 川崎　真紀 |
| 令和3年3月 | M3A | 上原　直輝 | 池澤　滉大 | 内田　亮 |
| (2021年3月) | M3B | 松田　　稔 | 田代　貴慎 | ◎ 古田　人陸 |
| ・第96期 | E3A | 片山　智裕 | ○ 山田　拓海 | 高松　大輝 |
| | E3B | 永津　圭一 | 伊藤　優 | 野村　篤紀 |
| 学年主任教諭 | IT3A | 深川　剛 | 小原明　杜斗 | ○ 宮崎　蓮碧 |
| 小島　茂 | O3A | 遊佐　みゆき | 須永　脩馬 | 大滝　美羽 |
| | O3B | 為田　純兵 | ○ 溝井　和心 | 金津　美月 |
| | O3C | 田中　秀明 | 原　元太 | 安西　陽奈 |
| | O3D | 寺岡しのぶ | 青木　海亜 | ○ 豊嶋　愛染 |
| 令和2年3月 | M3A | 村山　隆 | 内山　青馬 | 佐藤　文弥 |
| (2020年3月) | M3B | 関根　勝 | 谷口　輝 | 山田　光希 |
| ・第95期 | M3C | 森　昌芳 | ◎ 小野　琢未 | ○ 林　明輝 |
| | E3A | 児島　大祐 | ○ 大勝　敦氏 | ○ 高野　楓斗 |
| 学年主任教諭 | E3B | 小谷　司 | 山口　徹大 | 杉野　優斗 |
| 湯尻　英明 | IT3A | 小泉　佐和子 | 廣原　光希 | 双木　あい |
| | O3A | 田口　結香 | 大谷　純菜 | 小池田　悠翔 |
| | O3B | 清水　博信 | 佐々木　空冴 | 並木　寧音 |
| | O3C | 小島　健市 | 大久保　英明 | 赤星　佑 |
| | O3D | 毛塚　卓夫 | 濱田　奨真 | 渡邉　怜央 |
| | O3E | 上原　直輝 | 渋谷　寿貴 | 大塚　詩音 |
| 令和元年3月 | M3A | 片山　智裕 | 松岡　俊也 | 前田　龍斗 |
| (2019年3月) | M3B | 砂本　眞 | 蔵方　拓哉 | ◎ 宮崎　颯眞 |
| ・第94期 | M3C | 村上　信人 | 天明屋　哲 | 峯尾　空吾 |
| | E3A | 國井　昭博 | 鮫嶋　幹太 | 薄井　剣士 |
| 学年主任教諭 | E3B | 宮田　宏輔 | 波多野　利来 | 三好　海斗 |
| 藤吉　大介 | IT3A | 熊谷　暁了 | ○ 東川　直樹 | ○ 加藤　知樹 |
| | O3A | 宮地　裕 | 中村　優人 | 中島　賢太 |
| | O3B | 日比野　重光 | ○ 石井　はな | 宮下　望 |
| | O3C | 田島　恵 | 茅根　大河 | 平林　聖菜 |
| | O3D | 渕田　和良 | 森　弘喜 | 中井　和寿 |
| | O3E | 田中　清江 | 濱西　勇輔 | 稲毛　梨乃 |
| | O3F | 関根　章道 | 島﨑　竜聖 | ○ 前川　愛歌 |

| 卒年・期 | クラス | 担任教諭 | 幹事1 | 幹事2 |
|---|---|---|---|---|
| 平成30年3月 | M3A | 藤田　稔 | 中久保　知馬 | 服部　大吾 |
| (2018年3月) | M3B | 小林　正文 | 浅居　寛乃 | 割貝　太一 |
| ・第93期 | E3A | 松田　稔 | 栗屋　太郎 | 吉澤　紘大 |
| | E3B | 永津　圭一 | 早坂　勇希 | ◎ 綿谷　優一 |
| 学年主任教諭 | IT3A | 深川　剛 | ○ 笠原　裕希 | ○ 中村　綾花 |
| 小島　茂 | O3A | 原田　忠彦 | 小野　樹希 | 細井　亜美 |
| | O3B | 田中　秀明 | ○ 伊東　健介 | ○ 栗田　航暉 |
| | O3C | 遊佐　みゆき | 渡部　拓海 | 工藤　香梨 |
| | O3D | 寺岡　しのぶ | 山口　紘平 | 内倉　涼佳 |
| 平成29年3月 | M3A | 村山　隆 | ○ 岡田　千彰 | 児玉　康希 |
| (2017年3月) | M3B | 関根　勝 | 竹内　海斗 | 樋口　泰紀 |
| ・第92期 | M3C | 児島　大祐 | 田附　開智 | 尾崎　勇斗 |
| | E3A | 長谷川　浩 | 酒井　唯登 | 冨井　雄太 |
| 学年主任教諭 | E3B | 國井　昭博 | 森田　真吾 | 坂井　寛希 |
| 小島　健市 | IT3A | 小泉　佐和子 | 阿部　文哉 | 上地　悠悟 |
| | O3A | 毛塚　卓夫 | 鈴木　柊馬 | 岡田　侑也 |
| | O3B | 田中　清江 | 福島　大涯 | 長谷　玲七 |
| | O3C | 湯尻　英明 | ◎ 矢野　翔也 | 渡辺　巧輝 |
| | O3D | 関根　章道 | 大原　啓督 | ○ 今関　春奈 |
| 平成28年3月 | M3A | 増田　修一 | 安井　優史 | 野尻　昌利 |
| (2016年3月) | M3B | 宮地　裕 | 安藤　雄祐 | 佐原　優浩 |
| ・第91期 | E3A | 片山　智裕 | 時盛　倭人 | ﾌﾞﾙｰﾉ･ｶﾃﾞｨｰｼﾞｮ･ｷｽﾍﾟ |
| | E3B | 宮田　宏輔 | 塩出　淳己 | 新野　裕貴 |
| 学年主任教諭 | IT3A | 熊谷　暁了 | ○ 坂本　勇 | ◎ 星野　尚志 |
| 渕田　和良 | O3A | 岩田　孝文 | 本岡　舞 | 片岡　利里 |
| | O3B | 小島　茂 | ○ 伊藤　奈穂子 | 牧山　龍太 |
| | O3C | 日比野　重光 | 厚地　銀雅 | 早稲田みのり |
| | O3D | 藤吉　大介 | 菊池　亮太 | ○ 山本　珠莉 |
| 平成27年3月 | M3A | 村上　信人 | 根橋　正也 | ○ 真名子　祐介 |
| (2015年3月) | M3B | 佐藤　卓司 | 髙橋　一馬 | 髙橋　和志 |
| ・第90期 | M3C | 松田　稔 | 板橋　雄次郎 | 田中　裕朔 |
| | E3A | 藤田　稔 | 高橋　諒 | 竹本　祐太 |
| 学年主任教諭 | E3B | 上原　直輝 | 田代　有己 | 川村　大地 |
| 小川　欽也 | IT3A | 深川　剛 | ◎ 羽田　克萌 | 惠　皓生 |
| | O3A | 高橋　修 | 藤本　一輝 | 森　大輝 |
| | O3B | 原田　忠彦 | ○ 佐藤　優子 | ○ 本荘　和音 |
| | O3C | 片山　智裕 | 林　朋樹 | 叶　瀚涛 |
| | O3D | 寺岡　しのぶ | 濱田　隼弥 | 野口　優人 |
| | O3E | 小林　正文 | 原　友樹 | 川﨑　達也 |
| 平成26年3月 | M3A | 村山　隆 | 菊池　眞吾 | 綱島　利典 |
| (2014年3月) | M3B | 関根　勝 | 柴野　悠輝 | 白井　孝征 |
| ・第89期 | M3C | 山下　秀徳 | 小野　伊吹 | 片山　拓巳 |
| | E3A | 鈴木　光男 | 伊藤　稜 | 佐藤　季輝 |
| 学年主任教諭 | E3B | 関根　章道 | 植竹　尚生 | 頼本　大次郎 |
| 毛塚　卓夫 | IT3A | 長谷川　浩 | ○ 一戸　竜司 | ◎ 杉山　浩一 |
| | O3A | 小島　健市 | 篠崎　健斗 | ○ 芹田　咲良 |
| | O3B | 田中　清江 | 平良　一真 | 下山　達也 |
| | O3C | 湯尻　英明 | 橋爪　康貴 | 込山　莉央 |
| | O3D | 宮地　裕 | 小嶋　喜大 | ○ 中村　妃那 |
| | O3E | 志賀　由直 | 高橋　翔也 | 平　千春 |

・◎印は代表幹事、○印は副代表幹事です。
・幹事は各科・クラスより、それぞれ2名選出されされ卒業後同窓会担当として同窓会活動に協力していただいています。
・幹事の皆さんのなかで、更に常任幹事として同窓会の運営にご支援・ご協力いただける方は、是非事務局にご連絡いただきたく願いいたします。

# 事務局だより

## ■■ 主な同窓会行事と参加のお願い ■■

同窓会では、主に次の行事をおこなっており、開催時期は以下の通りです。

●新年会　　１月(最終土曜日)
●定期総会　　６月(第１土曜日)
●懇親旅行　　９月下旬～10 月中旬
●東 実 祭　　10 月下旬～11 月初旬（土・日曜日）

詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧いただくか事務局にお問い合わせください。なお、参加申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員（東京実業高等学校の同窓生・元教職員）の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡いただき、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。（企画・広報部）

## ■■ 広告掲載のお願い ■■

### ○同窓会報

本会報紙に広告掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は次の通りです。

| 広告サイズ | およそ寸法 | 色 | 価格(税込) |
|---|---|---|---|
| 1 | 85×45㎜ | カラー | 5,000 円 |
| 2 | Ａ５サイズ | カラー | 7,000 円 |
| 3 | Ａ４サイズ | カラー | 10,000 円 |

各号の締切日は、12 月中旬となっておりますので、お申し込みは、事務局に電話（080-1186-8945）またはメールにてお願いいたします。

### ○同窓会ホームページ

ホームページにバナー広告の掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は１年間 20,000 円(税込み)です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」または事務局に直接電話でお申し込みください。（企画・広報部）

## ■■ 同窓会名の電話・メールに“ご注意„ ■■

同窓会関係者を騙って、「名簿作成にあたって氏名・住所・生年月日・勤務先等を調べています」など、電話やメールにて個人情報の収集を行い、個人情報を悪用した詐欺被害が増えております。“ご注意„してください。

東実同窓会では、電話やメールによる寄付の要請や個人情報に関する問い合わせは一切行っていませんので、直ぐに対応しないようにご家族の方に周知してください。

また、同窓会名でこのような問い合わせがありましたら、必ず事務局または学校にご連絡し、ご確認ください。

（事務局）

## ■■ 個人情報の取扱い ■■

会員の皆様の個人情報の利用は、以下のときのみに使用しております。

●同窓会名簿の整備
●同窓会報の送付
●各種行事の開催案内送付
●総会・役員会議等の開催案内送付

同窓会は事務局も含め、全て卒業生のみで運営されており、保有している会員の情報は、本人の同意を得ずに第三者への提供や開示などはいたしません。（事務局）

## 編 集 後 記

昭和で１００年、戦後８０年の年である。本校は偶然に卒期と昭和が同数である。令和を生きる青年たちは今年が昭和何年かを計算することはないだろうが、昭和を生きた８０年前の青年たちは何を思って生きていたのだろうかと想いを巡らしてみることがある。

自身の顧客に零戦に搭乗していた人が居た。その本人に訊いたことがある、特攻隊に行きたかったですか、と。何かを訪ねるときに想像通りの返答を期待して訊くことがままある、しかし彼の口から出てきた言葉は「熱望していました」だった。その時を生きていた青年は純粋に親兄弟と郷里を守るために自分ができることをしようとしたと言うことだ。彼は老いても間違いだったとは思ってなかったし、私はただこの身近な先祖の想いに感謝するしかできなかった。

８０年経ってもどこかで戦火は絶えない。色々物議を醸している海の向こうの大統領だが、戦争はしたくないようだ。その理由はともかくも、今を生きる青年たちが８０年前と同じ思いをしないために武力衝突である戦争が一日でも早くなくなることを望みたいと思う。

広報部責任者（副会長）　第 70 期　深谷　和弘


東実同窓会報　*No. 36*
企画・広報部

| | |
|---|---|
| 責任者 | 深谷　和弘（副会長） |
| 部員（常任幹事） | 斉藤正千代　大平　貴志　長瀬　隆史<br>名取　正人　伊東　英明　高柳　直生<br>高山　俊一　加藤　知樹　宮崎　颯眞 |
| 発行日 | 令和７年３月１日 |
| 編集 | 東実同窓会報　企画・広報部 |
| 発刊 | 東京実業高校同窓会 |
| 事務局 | 〒144-0051<br>東京都大田区西蒲田 8-18-1<br>東京実業高等学校内<br>電話（M-phone）：080-1186-8945<br>E-mail：tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp<br>[ホームページ]<br>URL：http://www.tojitsu-dosokai.com/<br>Mail：info@tojitsu-dosokai.com |
| 発行人 | 酒井　利夫（会　長） |
| 編集人 | 深谷　和弘（副会長） |
| 協力 | 小島　健市（教諭・校内幹事長）<br>米倉　美鈴（事務局）<br>本田 位公子（顧　問）<br>臼田　佳彦（顧　問） |